

# ごみの減量化で住みよいまちに



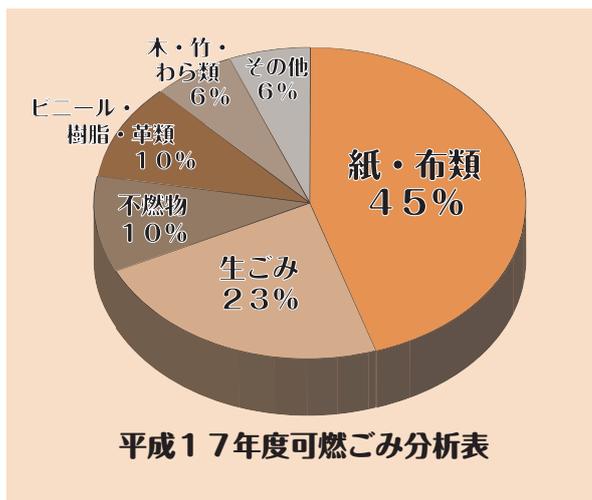
## 市のごみとリサイクル事情

市内で発生するごみの量は、皆様のご協力による紙・布類・ビン類・その他廃プラスチック・ペットボトルなどの分別収集で、わずかながら減少しています。

リサイクル率は年々上昇しているものの、まだ十分とはいえ、さらなるリサイクル推進に取り組むことが必要です。

市では、ごみ処理費用として、年間15億円以上の予算を使っていますが、中でも可燃ごみの固形燃料化処理費用が最も多くなっています。可燃ごみは、固形燃料化するのに、たくさんの灯油と消石灰を使っています。この灯油についても原油価格が依然として高値で推移しているため処理費用がかさみます。

平成17年度にさくらリサイクルセンターに搬入された可燃ごみのうち、紙・布類が半分近くを占めています。(グラフ参照)



このようなことから、「紙・布類」の分別をはじめ、ごみの減量化への取り組みが急務となっています。

## 指定ごみ袋制度導入の目的

わたしたちが生活していく中で、ごみを出さないで生活することは不可能です。しかし、ちょっとした工夫や意識の持ち方でごみを減らすことができます。

来年1月からの、ごみ処理手数料を含んだ指定ごみ袋の使用は、皆さん一人ひとりの「ごみの減量に対する意識改革の推進」をすることでリサイクルを進める「資源循環型社会」をつくりあげることと、ごみの排出量に応じた「費用負担の公平化」を図ることが主な目的です。



県の全国調査によると、全国自治体の39%が既に指定ごみ袋の有料化を実施し、22%が有料化を検討、または予定しています。有料化によるごみの減量効果は70%の自治体で見られ10~20%の減量化を想定しています。当市の減量化目標は、平成23年度までの4年間で4%のごみ減量を目指します。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



ぶんぶんまる  
**分分丸 参上**

こんにちは分分丸です。毎日寒いねー、みんなの家でも暖房器具は欠かせないんじゃないかな。だけど、壊れて修理できないものは捨てなくちゃいけないよね。

ストーブやファンヒーターは、上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田地区では「金属粗大ごみ」の収集日に、青山区では「粗大ごみ」として戸別収集しているんだ。

処理場での作業中に火事になる場合があるから、ごみに出す前には必ず乾電池と灯油を抜くようにしてね。

それから、出かける時に役立つのが使い捨てカイロだけど、使い終わったら、青山区では「燃やすごみ」、それ以外の地区では「ガラスくず・せともの」で出すんだよね。

そうじゃよ、分分丸。

お師匠さま

冬場は暖房器具以外にも鍋料理などにカセットボンベがよく使われるのじゃが、これもガスが残ったままだと火事の危険があるのじゃ。完全に使い切ってから風通しの良い所で穴を空けて青山区では「びん・缶類」それ以外の地区では「金属粗大ごみ」で出すのじゃよ。

また、これからの季節は特に火を使う機会が多いから、火の取り扱いには十分気をつけるんじゃよ。